

報道関係者各位
プレスリリース



2026 年 08 月 25 日
一般社団法人日本分析機器工業会
一般社団法人日本科学機器協会

**分析化学における AI・計算技術をテーマに
「RSC-JAIMA Symposium on Analytical Chemistry 2026」
9 月 3 日・4 日に開催
～JASIS 2026 内で招待講演・ポスター発表を実施～**

一般社団法人日本分析機器工業会（JAIMA、所在地：〒101-0054 東京都千代田区神田錦町 2-5-16、会長：足立 正之／株式会社堀場製作所 代表取締役社長）は、「RSC-JAIMA Symposium on Analytical Chemistry 2026」を幕張メッセ 国際会議場にて開催いたします。

本国際シンポジウムは、英国王立化学会(The Royal Society of Chemistry : RSC)と一般社団法人日本分析機器工業会(Japan Analytical Instruments Manufacturers' Association : JAIMA)の共催で 2011 年から開催しています。

今年のテーマは「Computational Techniques in Analytical Chemistry（分析化学における計算技術）」です。分析化学の分野においても、高度な分析の自動化技術や AI を活用したデータ解析への関心が急速に高まっています。分析化学分野での新たな計算技術の活用の取り組みについて、国内外の著名な研究者に講演いただきます。また、従来通り、若手研究者や学生、さらに分析関連企業の担当者らを対象とした一般公募のポスター発表も予定されています。

本シンポジウムは国際的な技術交流を促進し、来場者の皆様にとっても新たな知見を得る有益な機会となっています。

9 月 3 日、4 日の 2 日間、招待講演者による講演、ポスター発表について聴講をご希望される方は以下の JASIS 2026 のオフィシャルサイトから事前登録をお願いいたします。

【日時】

2026 年 9 月 3 日(木) 9 時 30 分～17 時 10 分予定

2026 年 9 月 4 日(金) 9 時 30 分～16 時 30 分予定

【会場】

幕張メッセ 国際会議場 2 階 国際会議室

【言語】

英語のみ ただし、招待講演については通訳ソフト「Wordly」による字幕（日本語）あり

【申込 URL】

RSC-JAIMA Symposium on Analytical Chemistry 2026 は JASIS 2026 のイベントとして開催されますので、ご来場の際には JASIS 2026 の事前来場登録をお願いいたします。

招待講演を聴講される方は JASIS 2026 の事前来場登録および受講登録をお願いいたします。

JASIS 2026 事前来場登録サイト

(日本語サイト) <https://www.jasis.jp/member/>

(英語サイト) https://www.jasis.jp/member_eng/

事前来場登録後（日本語サイトの場合）

以下から受講登録をお願いいたします。＜ログインが必要です＞

<https://www.jasis.jp/seminar/index2.php?tp=&stp=1&tpc=&td=&tt=&kw=RSC-JAIMA#results>

※ポスター発表者の方は当日の受付でお渡ししますネームカードおよび事前来場登録証で招待講演の受講が可能です。（個別の受講登録は不要）

当日は JASIS 来場者証を印刷の上、ご持参ください。

【招待講演者】

《9 月 3 日（木）》

- ・ Infrared spectral pathology. Are we closer to clinical adoption?

Professor Peter Gardner, University of Manchester

赤外分光病理学。臨床応用は近づいているのか？

ピーター・ガードナー 教授（マンチェスター大学）

- Droplet confined colloidal assembly and applications
Professor Lingling Shui, South China Normal University

液滴内におけるコロイド集合体の形成とその応用

シュイ・リンリン 教授（華南師範大学）

- MOF Crystallography of Microgram-Scale Bioactive Molecules
Professor Masaki Kawano, Institute of Science Tokyo

マイクログラム規模の生物活性分子の MOF 結晶構造解析

河野 正規 教授（東京科学大学）

《9月4日（金）》

- From data acquisition to knowledge generation: The transformative role of artificial intelligence in analytical chemistry

Professor Pai-Shan Chen, National Taiwan University

データ取得から知見の創出へ：分析化学における人工知能の変革的な役割

陳 珮珊 教授（国立台湾大学）

- Computational and machine learning approaches for the identification of unknown chemicals by mass spectrometry

Professor Han Bin Oh, Sogang University

質量分析による未知化学物質の同定に向けた計算科学および機械学習アプローチ

オ・ハンビン 教授（ソガン大学）

- Data-Driven Design of 2D Materials for Electrochemical Applications

Associate Professor Pawin Iamprasertkun, Thammasat University

電気化学における 2 次元材料のデータ駆動型設計

パウイン・イアムプラサートクン 准教授（タマサート大学）

【RSC-JAIMA オーガナイザー】

久本秀明 教授（RSC アナリストアソシエイトエディター、大阪公立大学）

ダニエル・チッテリオ 教授（RSC フェロー、慶應義塾大学）

【開催内容】

詳細は以下の RSC-JAIMA Symposium on Analytical Chemistry 2026 特設サイトをご覧ください。

<https://www.jaima.or.jp/ic/rsc-jaima/>

また、RSC のイベントページは以下を参照ください。

<https://www.rsc.org/events/find-an-event/rsc-jaima-symposium-on-analytical-chemistry-2026-computational-techniques-in-analytical-chemistry>